

## 「2-4 地域福祉の推進」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>成果が見えないと人間なかなかやる気が起きない。目に見える成果や指標が必要ではないか。</p>	<p>・現状・課題に記載しましたように、支援する側とされる側という関係性ではなく、お互いに支えたり支えられたりしながら共に暮らしを営んでいける地域を目指し、取り組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>・第3期地域福祉計画では、「おたがいさま」と「少しのおせっかい」を実現するため、市民や事業者のみなさまが安心しておせっかいができる体制を市役所が中心となって整備していきます。</p> <p>そのため、①断らない相談支援体制、②参加支援、③地域づくりの機能を有した包括的な拠点の設置を進めていきます。</p>	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
<p>ボランティアのモチベーション向上を真剣に考えないと、ボランティアはやる気一つで止めてしまう。担い手もいると思うが、丸投げでは動かない。</p>		
<p>しっかりした基本理念や達成感がないとボランティアは長続きしない。特に若い人は、頼まれてではなく、自分がやりたいことを積極的にやるという意識に変わってきている。</p>		
<p>きちんとした目的があり、困っている人がいるならば活動しようという人はたくさんいると思う。地域にとりあえず投げるのではなく、課題や目的、目標をきちんと提示し、市が積極的にボランティアを発掘するようなことも必要。</p>		
<p>どういう方にどういう活動に協力してほしいのかが見えにくい。明確にしておかないと、何でもかんでも放り込んだような内容となる。</p>		
<p>何でも地域に委ねら、期待されても困ると思っている市民も多い。昔から地域でしていた助け合いや支え合いを制度で壊しておいて、再度戻そうとしても簡単ではない。夢を並べて、現実とかけ離れていても仕方がなく、書き方に工夫がいる。</p>		
<p>成果指標について、「相談窓口の設置」で100%達成となるような指標では適切ではない。</p>	<p>・適切な指標をご提案いただければと思います。</p>	